

生き方・いろいろ・ゆたかな人生

# まなこ



# 87

2013 Mar.



特集

## 女性たちの現在 自分らしさ × 働く



女性の働き方から、これからの女性の在り方を考える  
 亜細亜大学経済学部教授 権丈英子先生に聞く……………2P

事務所を持たずに全国展開 自分時間でイキイキと仕事 ……4P

大切なのは、覚悟と誰かを大切にしたいという思い……………4P

「ママのちょっとした時間でも対価がもらえる」仕事作り……………5P

人は自分がこうしたいと願えば、それに近いところまでいけると思います……………5P

# 女性たちの現在

## 自分らしく、働く

現在、女性たちの働くことへの選択の幅は広がってきています。楽しく幸せな生き方を考えることで、自分らしい働き方が見つかるかもしれません。女性たちのリアルな声を聞きながら、社会へ参画することについて、共に考えてみませんか。

### 女性の働き方から、これからの女性の在り方を考える ～亜細亜大学経済学部教授権丈英子先生に聞く～

世界経済フォーラムが毎年発表する「男女平等指数」では、政治、経済、健康、教育の4分野、14項目を総合的に評価して、日本を135カ国中101位とランク付けしています。これは、日本における男女の活躍度合いの差が著しく大きいことを示しています。

そうした中、2012年10月、IMF（国際通貨基金）は、日本での総会開催に合わせて「Can Women Save Japan?」（女性に日本を救えるか?）という調査レポートを発表しました。このレポートには、日本の女性ももっと活躍するようになれば、経済成長も期待できると書かれていました。「女性は日本を救えるでしょう」——これは、IMFのラガルド専務理事の言葉です。今、改めて「女性の活躍」が注目されています。

社会が同じ量の労働力を活用するとき、そのアプローチには、「参加型」と「分業型」の2つがあります。日本人の働き方は、男女の役割分担をベースに、一人当たりの労働時間が長く、就業者の割合が小さい「分業型」に近くなっています。他方、「参加型」は、一人当たりの労働時間は短いけれども、女性も含めて多くの人が働く社会です。そうした社会に向かうには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への取り組みが重要になります。

それは、「分業型」の特徴でもある長時間労働の是正ということも一つありますし、状況に応じて、柔軟な働き方ができるようにすることもその一つです。私がワーク・ライフ・バランスを説くときにいつもポイントとしているの

は、一生のうち、ある時期には家庭重視であっても、その後、仕事をしたい、社会で活躍したいと思ったときには、それが実現できるように制度を整えていくこと、また人々の意識も変えていくことが大切だということです。ワーク・ライフ・バランスと言っても、それは女性に関わる子育てや介護と仕事との両立といったことに限定しているわけではありません。むしろ女性や母親というターゲットを定めて設計される仕組みは、その人たちを特別扱いするだけで終わってしまうことも多いものです。ならば、無理をせず、できる範囲で工夫して、幅広い層の人が納得できる公平性の高い形で、働き方を選択できる仕組みが作れたらいいですね。

今の日本の経済社会状況を考えると、これからの若い世代では、妻が夫

### 理想の働き方とは？ 権丈先生と学生が語る！

権丈先生のゼミで学ぶ3年生、男女6名の皆さんに、女性の働き方についての現状、理想の働き方についてそれぞれの思いをお話いただきました。

▼先ほどの先生のお話にもあった、今の日本の女性の働く環境について、どう思いますか？

長野さん IMFが女性の活用を奨励しているということですが、IMFの目的はあくまで経済成長だと思います。それが目的の女性の社会進出と、ワーク・ライフ・バランス的な見地からの女性の働き方の改善とは、基本的に違うんじゃないかなあ。

IMFは、言ってみれば、ムチ打って働かせて、労働力を増やせ！ということですよ（笑）。僕は、女性を今の男性並みに働かせるのではなく、その向こうにある幸せな生活を考えるべきだと思います。

権丈先生 そうですね。男女ともに人間らしく幸せになれるような働き方が大切だね。最近では、これまで女性の活用にあまり熱心でなかった経済界までが関心を持ち始めたようなので、一歩前進だろうと思います。

濱野さん 私は母の働き方というか、働かされ方に疑問を持っています。母は私が生まれたときからある工場で、男性と同じように20年もの間働き続けているのですが、待遇がいつか改善されるか、待たれているか、父は工場長になったのに（笑）。だから、デスクワークばかりの企業だけでなく、工場勤務などの女性の待遇についても、もう少し考えてほしいと思っています。

権丈先生 男女雇用機会均等法が成立して、もう30年近く経つところだけど、そういう例を、ときどき聞きますね。濱野さん 私も将来は仕事を持って一生働き続けたいと思っているので、そういう点がより改善されたいいなと思います。

▼皆さんの理想の働き方とは？

榎本さん 友だち夫婦は共働きをしながら、共通の趣味を持ちとても楽しそうに暮らしていて、彼らを見てると僕もそうなりたと思いますね。ただ、彼らは、働いていることで子育てにかけられる時間がとれず、子どもを持つという選択をしません。子どもを持つて、ただの時間的、経済的余裕があつて、夫婦で生き生きと暮らせたら……。それが僕の理想です。

腰塚さん 私は結婚したら専業主婦になりたいけれど、それまでは海外でのフィールドワークを主としたNPO団体で、現地で働きたいんです。

権丈先生 現地でいい出会いがあるかもね（笑）。

腰塚さん 現地で出会った人と安定した生活ができるかな……（笑）。でも、なるべく若いうちに結婚して子どもを生みたいとは思っています。

権丈先生 これからは、先に子どもを生み育てて、その後本格的に働くというケースも増えてくるかもしれないから、ぜひ検討してみてください！

高橋さん 私も結婚して子どもが生まれたら、少し大きくなるまでは子どもといっしょにいたいので仕事はやめると思っています。子どもが大きくなったら、正社員に戻るか、パートタイムで仕事



左から、腰塚智美さん、濱野夏美さん、高橋実穂さん

できたらいいけれど……。

権丈先生 それまでに就業支援や待遇改善も進んで、パートタイムでも気持ちよく働ける……そんな風になるといいね。でも自分の心がけも大事。再就職するときにパートタイムで始めても、そこでやりがいのある仕事や経済的に自立できる仕事を見つかる人もいるから、いかに時を過さずかを考えたいよね。

青木さん 僕は、就職したら定年まで、一つの会社で働きたいと思っています。器用なほうではないので、一つのことには頑張りたいんです。

権丈先生 意外に思われるかもしれませんが、転職せずに定年まで働きたいという人は多いようです。そのつもりでしっかり仕事を探して、まずは働くこと。これが大事だと思います。

「取材・文 関口直子」



左から、長野恵太郎さん、青木久幸さん、榎本博さん、権丈英子先生

## 事務所を持たずに全国展開 自分時間でイキイキと仕事

産後のケアが充実していない日本の制度を何とかしたい！すべての母親が産後のサポートを受けられる世の中の実現に向けて、クラウドを使い、自分の地域にしながら全国約50カ所で産後のボディケア&フィットネス教室を開く、NPO法人マドレボニータ。代表の吉岡マコさんにクラウド運営について伺いました。

自身の産後が、体調も精神的にも辛かったんです。産前は検診や母親学級など色々あるのに、産後の、特に「母体回復」のサポートがないことに愕然としました。とにかく自分自身が元気になる！という一心で産後のボディケア&フィットネスのプログラムを開発、教室を始めました。

開始時はチラシを作って知り合いの助産師さんに渡し、産後女性への紹介をお願いしました。2年後にインターネットを導入、ブログを始めてから、さまざまな地域からの問い合わせが増えました。ニーズを実感し、インスタクターの養成・認定制度を作り始めました。その頃からクラウド運営が始まりました。現在では全国で24人の認定インスタクターが教室を運営。月に1度の定例報告会は事務局スタッフも加わり32名でスカイプやチャットを使っておこないます。最近ではシリーズ化している「産後白書」の英訳版を電子書籍刊行。ネット上で購読できるなど、自宅にいながら、日本全国そして海外の産後に悩む人や関心のある人とつながることが出来ます。子育ては男女や職種を問わずみんなでするもの。より多くの人たちと産後を考え議論できたらと産前も対応の「カップルクラス」や医療関係者との「産後研究会」などを実施する予定です。

### 吉岡マコさん

1996年東京大学文学部美学芸術学科卒業。その後、同大学院生命環境科学科で運動生理学を学ぶ。自らの産後体験をもとに1998年初の産後ボディケア&フィットネス教室を開始。2008年NPO法人マドレボニータを設立。マドレボニータとはスペイン語で「美しい母」。

マドレボニータ <http://www.madreboonita.com>



自宅で仕事！顔を合わせない。だからこそ人と人のつながりを大切に。日課にしている就業報告では、スタッフの一日の様子や業務の工夫をメールで朝夕に共有し、タイムカード代わりにしています。お互いを気遣い工夫を共有することで、自分の仕事にもメリハリがつき効率も上がります。こうした相乗効果もクラウドの利点だと感じています。

「取材・文 藤原理和」

※クラウド・インターネットをベースとした「コミュニティ」の利用形態のこと  
※2スカイプ・インターネットで運営  
※3クラウド・インターネットでのリアルタイムコミュニケーション

## 「ママのちよっとした時間でも 対価がもどせる」仕事作り

独身時代は自分のため、仕事のために時間をフルに使ってきた堤さん。結婚し、母親になった途端に、社会と女性との距離に気づき、愕然としたそうです。女性が社会とつながる環境づくりをサポートしている堤さんに、女性の働き方について伺いました。

大学卒業後フリーアナウンサーとして働いていましたが、家庭を持ち、念願の子どもを授かったことをきっかけに、女性のタイムマネージメントの難しさに気づかれました。会社側の希望に合わせ、働いていくのが難しい、ならば他の手はないかと模索しながら、友人らと育児サークルを設立しました。活動しながら、子育てに十分な時間をかけたいと思いつつも、何らかの形で社会と関わってきたいと感じているお母さんたちは思っていたよりもたくさんいることに気づきました。そんな思いを抱えるお母さん方のお手伝いをしたいと思い、ネットワーク作りを始めました。

まずは自身の住む地域から徐々に規模を広げ、やがて全国へ広がるマーケティング事業へと成長しました。企業で働く人たちは子育て中の母親たちの生の声を聞く機会が少なかったため、キャリア・ママが媒体となってお母さんたちの声を集め、消費者の声を行政や企業へ届けています。今では全国10万人にのぼる主婦を中心とした会員さんがいます。

1日24時間の使い方は人それぞれで違います。仕事、家庭や生活の中で、今は



### 堤 香苗さん

（株）キャリア・ママ代表取締役 CEO  
2000年に（株）キャリア・ママ設立。「ママの笑顔と元気をモットー」に働くママを応援するフラッグシップカンパニーを目指す。

キャリア・ママ <http://www.c-mam.co.jp/>

どこに重きを置いて配分するかを考える。と時間はうまく使えようと思えます。条件的に自分に都合の良い仕事を選んで働くというよりは、自分の働きを喜んでくれる人がいると思つて仕事をした方が長続きするようです。自分のやりたいこと、できることを、100%の完璧を目指さずとも、とりあえず前に進んでいくことが大切だと思っています。

「取材・文 小林美菜」

## 大切なのは、 覚悟と誰かを大切にしたいという思い

美容部員を経て、2003年、「悩みのない肌作りを提案したい」と一人で基礎化粧品会社を起こした南沢さん。現在は本社社員約70名の企業にまで成長させ、自分らしく働くことを提案する企業として地域でも注目されています。誰もが働きやすい職場作りに必要なことを伺いました。

今思えば、起業できたのは経営に関する知識がなかったから（笑）。変に勉強していたら、起業していなかったかもしれませぬ。商品が売れず、在庫の山を抱えて空しくなったこともありませぬ。でも、「お客様のために何が出来るか」を大切に、ここまでできました。

社員が増えて最初にぶつかった壁は、「お客様に喜んで頂く」という思いを伝えること。そのために、まず、「社員を喜ばせる」ことに取り組みしました。例えば、12月はクリスマスにちなんでお給料明細を靴下に入れて渡すなどの工夫をしていたら、徐々に「お客様に喜んで頂くために何が出来るだろう？」という意識が広がっていききました。「相手を笑顔にしたい」という思いは、人に伝わっていくことを実感しています。

組織作りでは、個人の話を聴くようにしています。仕事と家庭はバランスが大変。片方がうまくいかないと、もう片方もうまくいきませぬ。家族の介護がある、体調が悪い、そんな生活の部分も含め、チームでサポートできる体制を目指しています。

現在、社員の約85%が女性です。仕事と生活のバランスを取ってもらうため、自宅勤務が可能な職種や、産休はもちろん、

## 人は自分がこうしたいと願えば、 それに近いところまでくまらけると思えます

地域密着のコミュニティ型店舗として展開している吉祥寺バルコ。その店長として就任した小泉さんから、女性管理職として大切にしていることを伺いました。

以前はリーダーとは、みんなを引っ張っていくものだと考えていたのですが、実際店長になってみると、スタッフ達に背中を押され、支えられて前を歩いているだけだとわかり、周囲に日々感謝しています。若いころから自分の考えを相手に伝え、納得してもらおうようにしてきたので、スタッフにも同じように、自分の意見をはっきり言ってもらおうようにしています。社内の風通しを良くして、困っていることは早い段階で解決していく努力をしています。特に心がけているのはスタッフの健康です。

人生は自分の思い描いた通りにはならないことも多いけれど、自分のキャリアやライフプラン（結婚や出産を含め）は早めを考え、設定したほうが良い、と自らの反省もこめて、若いスタッフに話しています。なりたい自分と今の自分とのギャップを認識して、それを縮めるには何をすべきかを見極めることが大事です。ある程度のレベルまでは、自分がこうしたいと願えば、それに近いところまで到達は可能で、もちろん状況に応じて軌道修正や何年かごとの目標のたな卸しもとても良いことです。「パートナー」との生活を具体的にイメージし、目指していけば、それに近づくこと

### 南沢典子さん

あきゆらいず美善品代表取締役  
基礎化粧品だけでなく、体を元気にさせる食品まで幅広く取り扱う。「売り手良し、買い手良し、世間良し」の「三方良し」が企業理念。社屋を一部開放し、会社全体で地域交流にも貢献している。

あきゆらいず美善品 <http://www.akyrise.jp/>



ん、男性の育児休暇も作りました。様々な理由でそれまでの仕事をこなすことが難しくなった人には、その人にあつた働き方も考えます。そこまではその人の覚悟が見えるから。一生懸命やっている人には、こちらも応えたいですね。

人が会社にあわせるのではなく、会社と人、双方のプラスになる形が理想です。人それぞれがベストな生き方ができる社会が必要になっていくと感じています。

「取材・文 詩水淳子」

### 小泉真紀子さん

吉祥寺バルコ店長  
92年バルコ入社。在職21年のうち、16年間は札幌、広島、名古屋、熊本等の地方勤務を重ね、昨年3月から同店店長就任。



ができる、仕事もこういう仕事がしたいと望めば叶うよ」と伝えています。

最近はお勤前に英会話を習い、異文化交流を楽しみ、休日にはヨガにも通っています。また本音を語り合える友人は財産であり、彼女たちとの会食は、働き女子にとって大切です。常に自分を磨きつつ、人や世の中の役に立つ仕事をしていきたいですね。

「取材・文 杉田真奈美」

# INFORMATION

## 市民活動推進課 男女共同参画担当から

### ●武蔵野市男女共同参画推進委員会について

昨年10月から計6回の会議を開催し、市の第二次男女共同参画計画の推進状況などを検討していただきました。25年度は、第三次男女共同参画計画の策定及び今後の推進に関して検討する予定です。検討結果をまとめ、10月に報告書を市長へ提出していただきます。

第7回は4月22日(月)午後7時から武蔵野プレイスで開催予定です。

### ●武蔵野市男女共同参画に関する意識調査を実施

平成24年12月、満18歳以上の市民の皆様から1,500人(男女750人)の方を無作為抽出し、意識調査を実施しました。市民の皆様のご意見・ご要望を反映させていくため、調査結果をもとに第三次男女共同参画計画を策定します。

- ◇回収結果 有効回収数 485人  
(女性：294人、男性：167人、性別無回答：24人)  
有効回収率 32.3%
- ◇報告書は4月発行予定で、西棟7階市民活動推進課、図書館、むさしのヒューマン・ネットワークセンター等で閲覧ができます。

### ●「平成24年度男女共同参画講演会」を開催しました。

2月16日(土)、市役所811会議室において、声優・脚本家等幅広く活躍されている佐久間レイさんを講師にお迎えし、「心を柔らかくストレッチ。感動する心で自分らしく歩き出ませんか」と題し、男女共同参画講演会を開催しました。(来場者55名)

佐久間さんの実体験を交えたお話し、歌や朗読などもまじえ、心温まる講演会となりました。心を軽くし、自分らしく生きていくことについて改めて考える機会となりました。

市民部市民活動推進課 男女共同参画担当 TEL: 0422(60)1869 FAX: 0422(51)2000 URL: <http://www.city.musashino.lg.jp>

### ●平成25年度男女共同参画推進団体の登録・更新について

女性の社会進出の支援など、男女共同参画の推進を目指す活動をしている団体を「男女共同参画推進団体」として登録しています。

対象は、男女共同参画社会の実現に向けた活動を主たる目的として継続的かつ計画的に活動する団体で、登録の要件としては、①営利を目的とした活動又は営利活動を援助する行為、特定の政党、宗教又は教団を支援する行為を行わない団体である②団体の構成人員が5人以上で、原則として構成員の3分の2以上が武蔵野市内に在住している、などがあります。

登録団体は、男女共同参画社会実現のための研究会や講演会の開催などの活動補助金の交付申請、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの印刷機使用料の半額免除などができます。

現在登録中の団体で、平成25年度の登録更新または登録取消を希望される場合は、市から送付している申請書を4月30日までに提出してください。期日までに登録申請を行なった団体は、団体名簿に掲載し、一般に公開します。 \*なお、新規登録は随時受け付けております。

### ●市民とつくる男女共同参画情報誌『まなこ』サポーター募集

家庭、地域、社会、労働の場などで男性・女性が共に抱えている問題について関心がある方、活動している方で『まなこ』のサポーター(旧レポーター)をやっていただけの方(ボランティア)を募集します。

- 主な活動：①年4回程度のサポーター会議に出席。(3カ月～末就学児の託児あり)  
②発行された『まなこ』に対するご意見・ご感想などの提供。  
③これから発行する『まなこ』の企画や取材先などのご提案。  
④特集テーマに沿った、200字程度のコラムの執筆。(1～2回程度)

募集：市内在住・在勤・在学の方。10名程度(超えた場合は調整あり)。任期は1年間(平成26年3月31日まで)。

申込み：はがき・FAXで4月15日(月)までに

- ①住所②氏名③電話番号④私の興味ある『まなこ』のテーマ(100字程度) ⑤(あれば)活動団体を記入し、市民活動推進課男女共同参画担当まで。

column vol.6

## 怒らない選択肢があること、知っていますか？

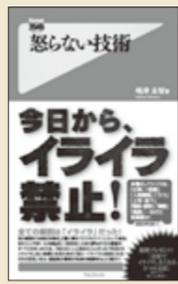
怒りは大切な感情の一つ。でも、その感情にとらわれると良い結果をもたらしません。怒りの感情への対症療法や怒らない体質作りを提唱している日本アンガーマネジメント協会の理事・嶋津さんに「怒り」とのつき合い方を伺いました。



しまつよし のり 嶋津良智さん  
リーダーズアカデミー学長  
早稲田大学講師 独自で開発したプログラム「上司学」による企業研修、コンサルティングを行う。著書「怒らない技術」「怒らない技術2」で累計72万部を達成。日本アンガーマネジメント協会 <http://www.angermanagement.co.jp/>

誤解されている方が多いのですが、怒りは人から与えられるものではありません。怒りは自ら選択し、発生させている感情です。つまり、怒っている人は、怒ることを選択しているのです。もちろん、怒りを否定する必要はありません。ただ、その表現方法を少し変えるだけで、状況が劇的に変わることもあります。

また、怒りの約8割は「自分の感情」を大切にしながら結果、生まれると言われています。冷静になることができれば、怒る必要のないケースも多いようです。不要な怒りを減らすことができれば、人間関係の改善にも繋がると思います。怒りのコントロール方法はたくさんあります。その中でも手軽に試せるものを次にご紹介しました。まずは自分にあいそうな方法を一つ実践し、その変化を感じてみてください。



「怒らない技術」嶋津良智 著 [フォレスト社]

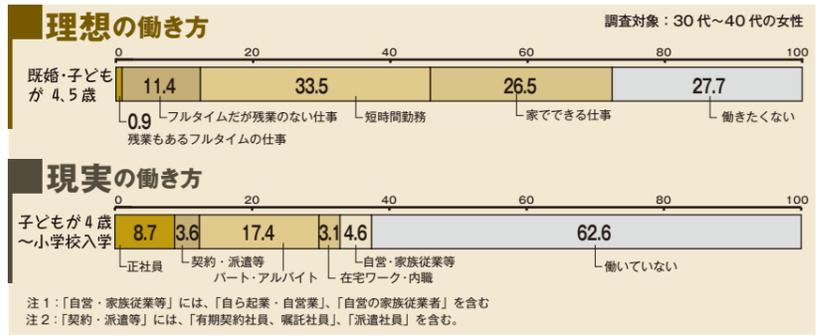
自分の立場と相手の立場を入れ替えて考え、対応する  
例「早くやってー」「何度言ったら分かる？」等自分と同じ口調で、相手が何か言ってきたらどう感じるかをイメージしてから、応答する  
普段とは少し違う行動を取り、意識を別の方向に向ける  
例 一つ手前の駅で降りて、歩いて帰る/目的地までいつもと違う手段、道を選ぶ/行ったことのないレストランに一人で入ってみる

「怒らない体質作り」アンガログ(怒りの記録)をつけ、怒りのパターンを見つける  
例 自分の時間の邪魔をされるのが嫌/同じ人に対してよく怒る  
自分の怒りのパターンを理解すると、その場に直面した時に冷静になれる  
相手にしてほしいことに焦点を当て、それを伝える  
良い結果を出すことが目的。相手に本当に思ってもらいたいことのみを伝える  
例 子どもの帰りが遅くなった時「何してたの！ 今後は外出禁止！」から「すこしく心配したよ。遅くなるなら連絡して！」に言い換える、など

## 数字で見る男女共同参画 Vol. 6

### これって何の数字？

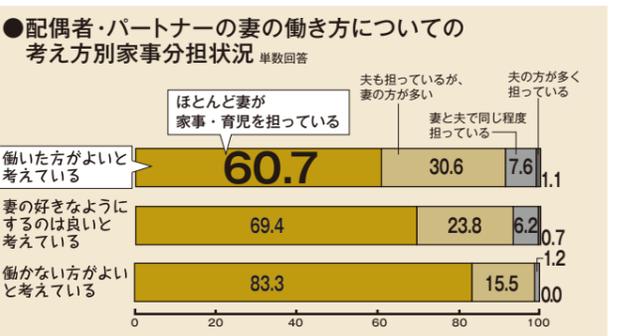
60.7%



### 妻が働いたほうが良いと考えている夫が、妻にほとんどの家事・育児を任せていると考えられる割合です。

結婚して子どもが生まれても、何らかの形で働きたいと考えている女性の割合は、子どもの年齢が4歳以上ならば7割を超えています。一方で、実際には、子どもが未就学児、小学生の場合は約4割しか働けていない(右上図参照)、そんな現実を象徴する数字が上記の「60.7%」です。

右下図は、平成19年度に内閣府によって実施された「女性のライフプランニング支援に関する調査報告書」において、配偶者・パートナーの妻の働き方についての考え方別家事分担状況を表したものです。これによると、妻が働いたほうが良いと考えているにも関わらず、6割を超える夫が、妻にほとんどの家事・育児を任せています。また、妻の好きなようにするのがよいと考えている夫の約7割が同様の実態と考えられ、実際、妻と夫で同じ程度、家事・育児を担っているのは、それぞれ1割にも満たないことがわかります。



出典：内閣府「女性のライフプランニング支援に関する調査報告書」平成19年より作成

「働きたい…でも、家のことは、子どものことはどうするの？」という妻の悲鳴が聞こえそうなこの現実、「気持ちだけでなく行動で妻を支える夫」が、一人でも多く増えることを願うばかりです。  
[文 関口直子]

### もしDVにあっているなら…相談窓口をご案内します

- 武蔵野市役所 母子(ひとり親)・女性相談  
0422-60-1850  
(祝日・年末年始を除く月～金曜 9:00～17:00)
- 警視庁総合相談センター  
03-3501-0110  
(祝日・年末年始を除く月～金曜 8:30～17:15)

- 【配偶者暴力相談支援センター】
- 東京ウイメンズプラザ  
03-5467-2455  
(年末年始を除く毎日9:00～21:00)
- 東京都女性相談センター多摩支所  
042-522-4232  
(祝日・年末年始を除く月～金曜9:00～16:00)
- 東京都女性相談センター  
03-5261-3110  
(祝日・年末年始を除く月～金曜9:00～20:00)

- 夜間・緊急の場合
- 警察(事件発生時) 110番
- 東京都女性相談センター  
03-5261-3911(夜間・休日のみ)
- 武蔵野市役所 女性総合相談  
専門の女性相談員が対応します。  
予約制 第2木・第4火(相談時間50分)  
予約専用 0422-60-1921

レポーターって何？ 以前の素朴な疑問を解決すべきチャンスは今期いただいた。で、その感想は？まなこ発行に参集したこの奇蹟のメンバーで男女共同参画について大いに意見交換をし、その上で編集へ、それが「まなこつながり」を拡げる。まなこつながりを次々に拡げることが次の方々への贈り物になるはず。で、実感は？ 作成にあまり関与していないのに刷り上がった「まなこ」裏に名前が載る。うっすかし。が……私は学び続ける。

現在、感じているわたし 山田加代子 ●緑町

男性は仕事、女性は家庭!? 矢後麻美 ●境

いつか創る 田嶋真紀 ●境南町

「まなこ」レポーターの200字ミニム 「女性たちの現在」について

「まなこ」は文字通り「眼」。人やまちや文化や地球を、男女共同参画の視点＝「まなこ」で見ている！という思いで名付けられました。1991年創刊以来、市民が企画・編集にかかわっています。

## 平成24年度『まなこ』第3回レポーター会議

### 86号「子どもたちの現在」を読んで

■表紙がテーマに沿って描かれていてよかったです。テーマが堅いのにもかかわらず、手に取りやすいと思った。(40代・女性)

■学校では基本的な人権をもとに男女同じことをしている、というだけの記事では少し物足りなさを感じた。(60代・女性)

■母という立場から学校教育の記事を興味深く読んだ。学校で、男だから女だからと言われないで、一人の人間としていろいろ行われているのはいいと思うが、家庭ではどのように対応すべきかを考えさせられた。男の良さ、女の良さを認めつつ、人としての平等を求めたい。(40代・女性)



12月12日(水)10:00～12:00 市役所813会議室にて

■デートDVは難しいテーマなので敬遠しがちだが、逆にわかりやすい言葉と優しいイラストによって、とっつきやすい内容になっていた。(30代・女性)

■絵本の記事には共感でき、子どもには男女平等とか難しい言葉はいらなくて、絵本を通して体験していくことで、人権や愛、思いやりを学び、男女平等につながっていくのではと感じた。(30代・女性)

■学校教育の記事では、もう少し具体的な考えを含んだ話を聞きたかった。自分の学生時代は、女子が家庭科で男子が技術科に疑問に思わなかったが、現在なら抗議していたと思うので、時代とともに意識も変化しているのでは。次世代に期待したい。(30代・女性)

87号に向けてのご意見もいただきました。

### 活動補助金事業を紹介します

昨年10月13日(土)、むさしのヒューマン・ネットワークセンター会議室において、市の男女共同参画推進団体むさしのスカレット主催で「児童文学作家としてのこころ」を講師に「アジアの子どもの心をつなぐ」児童文学者として伝えたいことと題したトークサロンが開催されました。(参加者30名)

アジアの国々の絵本を実際に紹介いただきながら、児童文学作家や挿絵家たちの思い、出版・翻訳状況、異文化理解の大切さなどを伺いました。交流会では他市の団体との交流もでき、充実したひとときとなりました。



## おしごとの窓口情報

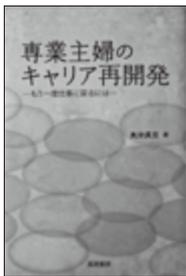
- マザーズハローワーク  
仕事と子育ての両立をめざす方をはじめ、就職を希望するすべての女性を支援するハローワークです。  
<http://tokyo-mother.jsite.mhlw.go.jp/>
- 東京しごとセンター  
再就職活動のノウハウの提供をはじめ、ビジネススキルや専門スキルを付与する能力開発、就職プランを回復するための職場実習・体験など総合的な支援を実施しています。  
<http://www.tokyoshigoto.jp/index.php>
- チャレンジ・サイト(内閣府男女共同参画局)  
働きたい女性、社会貢献したい女性、暮らしのクオリティ・アップをめざす女性を応援するサイトです。  
<http://www.gender.go.jp/e-challenge/>

## BOOKS

貸し出ししています!

### むさしのヒューマンネットワークセンターの蔵書から

#### 『専業主婦のキャリア再開発—もう一度仕事に戻るには—』



奥津眞里著 「風間書房」  
女性が仕事から離れるとき、また再就職を決断したとき、どのような考えで行動しているのか。本書は、女性のキャリア形成に関する意識調査と実態調査をもとに構成され、様々な事例を紹介している。専業主婦と働く母の二つのキャリアをもつことは、その後の人生にどのような効果をもつのか。それぞれの生活事情や価値観、人生観に即して個人が自分自身の生き方を無理なく選べることは、人生のいつの段階でも望まれることだという。自分が最も納得できる生き方を実行できる社会について考えられる一冊である。

むさしのヒューマン・ネットワークセンターは、男女共同参画社会を実現するための推進拠点施設です  
武蔵野市境2-10-27 武蔵野市政センター2階 tel・fax 0422(37)3410  
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp URL <http://www.mhnc.jp/>

### 男女共同参画社会とは?

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第二条より)

## \* STAFF \*

レポーター： 青山ゆう子 岡部三香 梶 薫 田嶋真紀  
星山里恵 丸山麻帆 矢後麻美 山田加代子  
取材・編集： 小林美菜 詩水淳子 杉田真奈美 関口直子  
藤原理和 市男女共同参画担当職員  
編集協力： 栗原 毅  
表紙イラスト： 藤原理和  
デザイン： 上田ジュンコ  
印刷： プリンティングイン株式会社

## \* \* \* \* \* \*

「まなこ」は市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンター、駅、市内の医療機関、美容院、大型店舗、金融機関、おふろやさんなど市内の約450か所に置いてあります。バックナンバーをご希望の方は、市民活動推進課男女共同参画担当まで。

## Editors' Notes 編集 \* 後記

私の能力をどこかで待っている人がいるかもしれない。もっと積極的に発信して欲しいと思う。(小林美菜)

女性たちの働き方も変わってきている。その変化の場所には明確なビジョンを持った本気の女性たちがいることを知った。(詩水淳子)

女性の働き方は実に多様で、可能性がある。自分らしく働いている女性たちの生き方はヒントになり、すこく元気づけられた。(杉田真奈美)

自分らしく、楽しく幸せな働き方ができているか。この言葉を胸に、明日からまた頑張っていきたいと思えます。(関口直子)

何かをはじめるときは、意外とちよとしてたこと。Just do it. 自分に言いながら、いろんなことにチャレンジしたい。(藤原理和)

◎綴じ込み返信はがきで、ご意見やご感想をお寄せください。25年度も『まなこ』を引き続き愛読ください。